

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
	授業を 通じての 到達目標			
第 6 回	講義	筋弛緩法について	配布資料	授業の予習、復習
	演習形式	各コマにおける 筋弛緩法とはどのようなものか 筋弛緩法を行うには ハンドベル②		
第 7 回	演習形式	自律訓練法について	配布資料 AV機器	授業の予習、復習
		各コマにおける 自律訓練法とはどのようなものか 自律訓練法を行うには		
第 8 回	講義演習形式	イメージ法について	配布資料 AV機器 ハンドベル	授業の予習、復習
		各コマにおける イメージ法とはどのようなものか イメージ法を行うには ハンドベル③		
第 9 回	講義演習形式	古代ギリシヤ音楽について	教科書・配布資料 AV機器	授業の予習、復習
		各コマにおける 古代ギリシヤの音楽鑑賞		
第 10 回	講義演習形式	音楽とキリスト教について	教科書・配布資料 AV機器	授業の予習、復習
		各コマにおける キリスト教 グレゴリオ聖歌鑑賞		
第 11 回	講義演習形式	小児領域の音楽療法について	教科書	授業の予習、復習
		各コマにおける 療法的視点による音楽活動 音楽を使った物語		
第 12 回	講義演習形式	成人領域の音楽療法について	教科書 AV機器	授業の予習、復習
		各コマにおける 精神障害の音楽療法鑑賞		
第 13 回	講義演習形式	高齢者領域の音楽療法について	教科書	授業の予習、復習
		各コマにおける 高齢者への音楽療法 リトミック		
第 14 回	講義演習形式	社会での音楽の役割について	配布資料 AV機器 ハンドベル	授業の予習、復習
		各コマにおける 音楽の機能 ジェンダーと音楽 DVD鑑賞 ハンドベル④発表の準備を行う		
第 15 回	講義演習形式	ハンドベルの演奏の楽しさを味わう	配布資料 ハンドベル	授業の予習、復習
		各コマにおける ハンドベル⑤ 演奏を発表する		

2022年度授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	音楽とリラクゼーション	必修/選択の別	必修		授業時間(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時限	通年		教室名	視聴覚室・講堂
担 当 教 員	岡本祥子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
私たちの身体は、ストレスの多い現代社会から受ける刺激に対し、どのように反応し、どのように対処しているのか。また、リラクゼーションには、どのような活動を行えば良いのか。音楽を交えながら、リラクゼーションする方法や音楽の楽しみ方を学ぶと共に、音楽の成り立ち、音楽と社会との関り、音楽が私たちの心にも与える影響などについても学び、音楽への興味や知識を深めていきたい。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト並びに出席などにより総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
基礎から学ぶ音楽療法 編者 古賀幹敏(教科書)						
《授業外における学習方法》						
教科書、配布資料にて予習・復習を行う						
《履修に当たったての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
講義演習形式 第 1 回	授業を通じての到達目標 音・音楽について 音楽療法について	音楽の定義、音の性質 音楽療法の歴史 鑑賞		教科書 AV機器	授業の予習を行う	
講義演習形式 第 2 回	授業を通じての到達目標 リラクゼーション法について①	リラクゼーションとはどのようなものか、 リラクゼーションと身体への反応		配布資料	授業の予習、復習	
講義演習形式 第 3 回	授業を通じての到達目標 リラクゼーション法について②	リラクゼーションと身体への反応 リラクゼーション法を習得する為に		配布資料	授業の予習、復習	
講義演習形式 第 4 回	授業を通じての到達目標 楽典を学ぶ	音程 コードネーム ハンドベル①		配布資料 ハンドベル	授業の予習、復習	
講義演習形式 第 5 回	授業を通じての到達目標 呼吸法について	呼吸法とはどのようなものか、 呼吸法を行うには		配布資料	授業の予習、復習	